

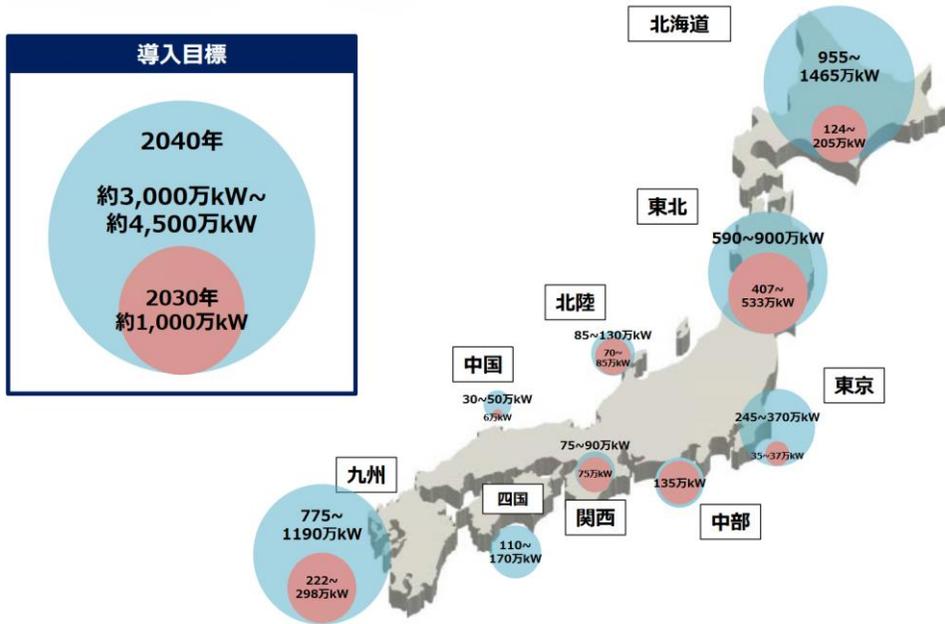
九州洋上風力関連産業ネットワーク について

令和5年8月
九州経済産業局
資源エネルギー環境課

九州における洋上風力関連産業のポテンシャルについて

○九州は、洋上風力の「潜在的な適地」が多く存在し、案件形成についても、2021年度に長崎県五島沖(1.7万kW)、2022年度に長崎県西海市江島沖(42万kW)が再エネ海域利用法の促進区域に指定され事業者公募が始まるとともに、港湾地区においては、北九州響灘洋上風力発電(24万kW)が、2023年3月に着工し、市場獲得に向けた動きが本格化。

【参考】我が国における洋上風力のエリア別の導入イメージ



※2030年については、環境アセス手続中(2020年10月末時点・一部環境アセス手続が完了した計画を含む)の案件を元に作成。

※2040年については、NEDO「着床式洋上ウインドファーム開発支援事業(洋上風力発電の発電コストに関する検討)報告書」における、LCOE(均等化発電原価)や、専門家によるレビュー、事業者の環境アセス状況等を考慮し、協議会として作成。なお、本マップの作成にあたっては、浮体式のポテンシャルは考慮していない。

〈促進区域、有望な区域等の指定・整理状況(2022年9月30日)〉

区域名	万kW
①長崎県五島市沖(浮体)	1.7
②秋田県能代市・三種町・男鹿市沖	47.88
③秋田県由利本荘市沖	81.9
④千葉県銚子市沖	39.06
⑤秋田県八峰町・能代市沖	36
⑥長崎県西海市江島沖	42
⑦秋田県男鹿市・潟上市・秋田市沖	34
⑧新潟県村上市・胎内市沖	35.70

事業者選定済
約170万kW

現在、公募中
(2023年6月末迄)
約180万kW

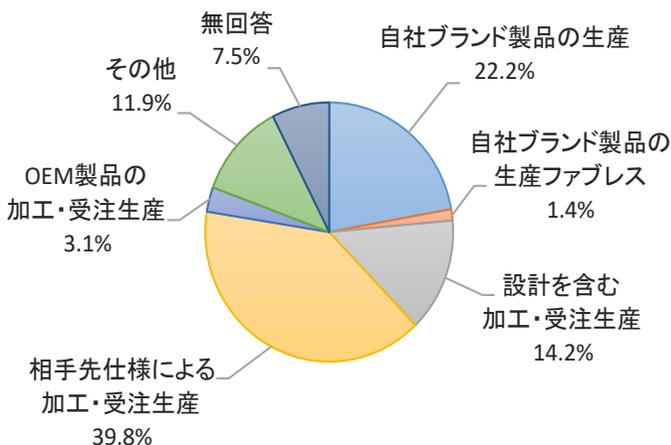


【出所】資源エネルギー庁HP、ひびきウインドエナジー株式会社HP

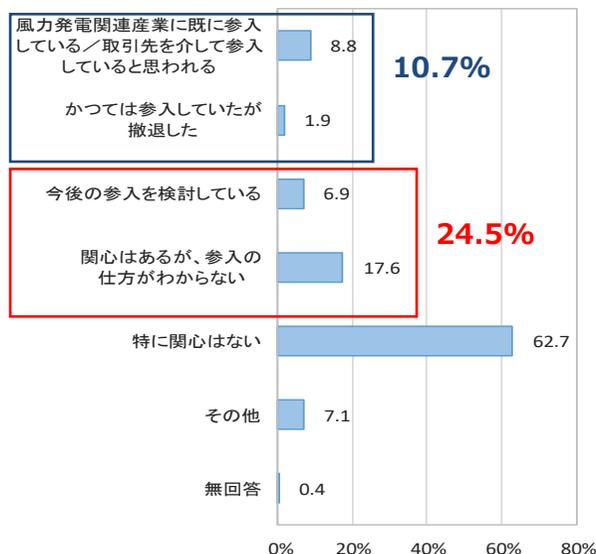
九州地域等における洋上風力関連産業のネットワーク化について

- 令和4年度に実施した「九州管内における洋上風力発電関連産業のサプライチェーン構築に向けた競争環境分析調査」を通じ、① **中小企業が持つ技術の洋上風力分野への横展開の可能性**、② **市場情報や企業情報等の情報共有のニーズ**が一定程度示されたところ。
- 他方、川上企業においてはサプライヤーの企業情報、サプライヤーにおいては市場情報や規格・ニーズなどの情報が不足していることが課題であることも判明。このため、情報共有・企業のネットワーク化を実施しながら、企業間のマッチングの機会等を創出し、サプライチェーンの自走化を目指す。

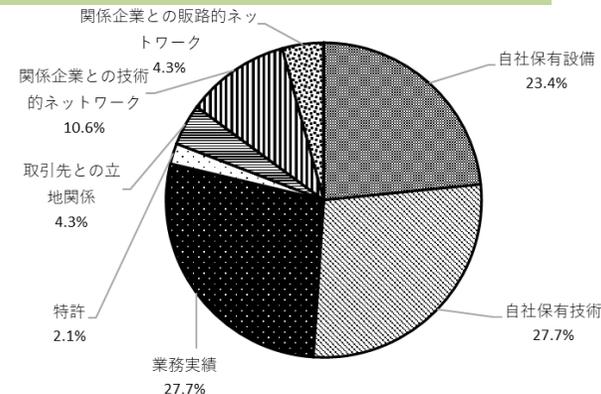
● 主な生産形態



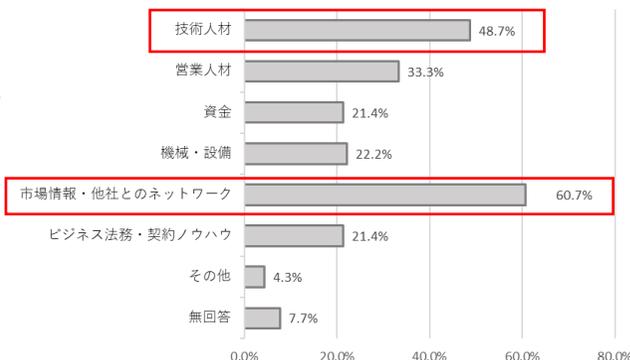
● 参入状況・関心度



● 取引獲得要因(参入済・撤退済)

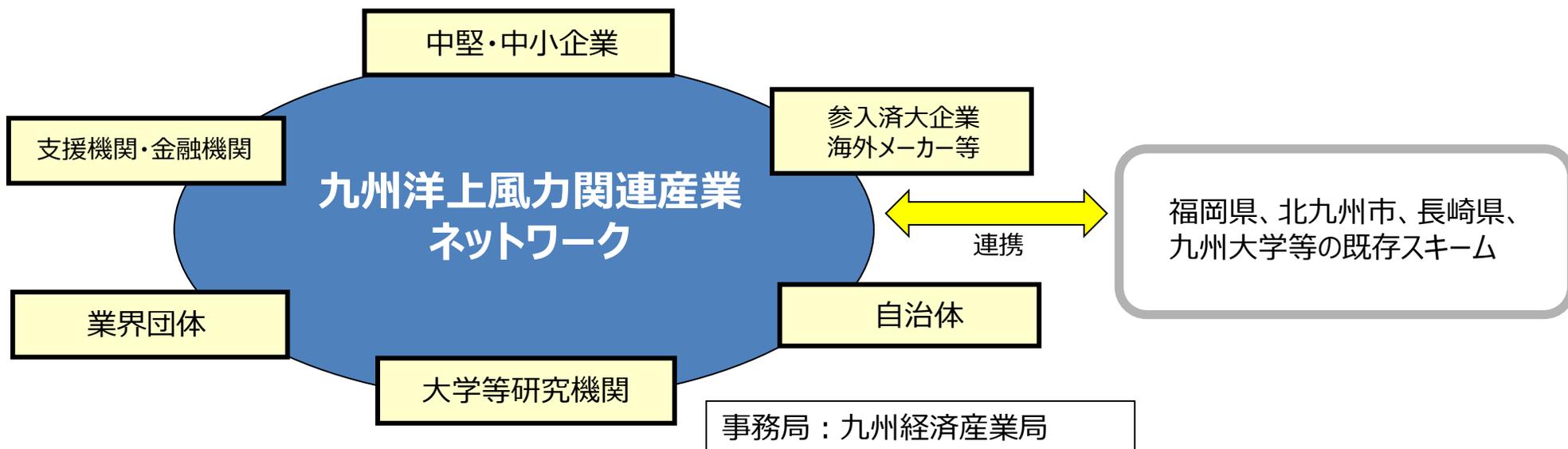


● 不足している経営資源



九州洋上風力関連産業ネットワーク

- 具体的には、令和5年度に九州地域における洋上風力関連産業の振興のため、参加者間で、情報共有・意見交換・個別事業の連携等を円滑に実施するを目的とした「九州洋上風力関連産業ネットワーク（仮称）」を組成し、九州管内のサプライチェーン構築強化を目指す。
- 既存の自治体、大学等のスキームとも連携を図り、九州内外の広域的なネットワーク形成を目指す。



<主な活動内容> (予定)

- (1) 九州地域における洋上風力関連産業のサプライチェーン構築に資する情報共有・意見交換・連携
- (2) セミナー、各種マッチングの開催、メールマガジンの配信等を通じた上記情報の発信・共有
- (3) 会員による保有機器・設備等の情報共有
- (4) 行政等による各種支援策の情報共有
- (5) その他、会員から要望があり事務局で妥当と判断した事項